

2025年度 大学院入学試験 問題用紙

春季	国際学専攻 博士後期課程	方式	科目
		A 一般	英語

受験番号 _____
氏 名 _____

(2-1)

辞書使用可・電子辞書不可 《解答別紙》

以下の英文を読み、設問に答えなさい。その際、解答用紙に問題番号を明記すること。

著作権の関係で掲載できません。

2025年度 大学院入学試験 問題用紙

春季	国際学専攻 博士後期課程	方式	科目
		A 一般	英語

受験番号 _____
氏 名 _____

(2-2)

辞書使用可・電子辞書不可 《解答別紙》

著作権の関係で掲載できません。

(出典) Viorica Marian (2023). *The Power of Language: How the codes we use to think, speak, and live transform our minds.*
Penguin Random House.

- 問 1: 下線部(1) bridges に対する言語間の意味の違いについて 200 字程度で説明しなさい。
- 問 2: 下線部(2)を日本語に訳しなさい。
- 問 3: 下線部(3)の一例として挙げられている、第二次世界大戦時の日本と連合国とのやり取りにおける言語的問題について 150 字程度で説明しなさい。
- 問 4: 下線部(4)を日本語に訳しなさい。
- 問 5: 多言語を学ぶことの重要性について、筆者の考えを 300 字程度で説明しなさい。

2025年度 大学院入学試験 問題用紙

春 季	国際学専攻 博士後期課程	方 式	科 目
		A 一 般	論 文

受験番号 _____

氏 名 _____

(1 - 1)

《 解答別紙 》

下記の 3 問から 1 問を選び、それについて論述しなさい。その際、解答用紙に選択した問題の番号を明記すること。

1. 19 世紀末から今日に至るまでの近代人類学における理論的転回について、以下の用語を全て用いながら説明しなさい。

用語：進化論、文化相対主義、自然

2. 公害・環境問題を例にあげながら、外部費用論の意義と限界を説明しなさい。

3. 研究における主観と客観について、具体例に言及し、コメントしなさい。